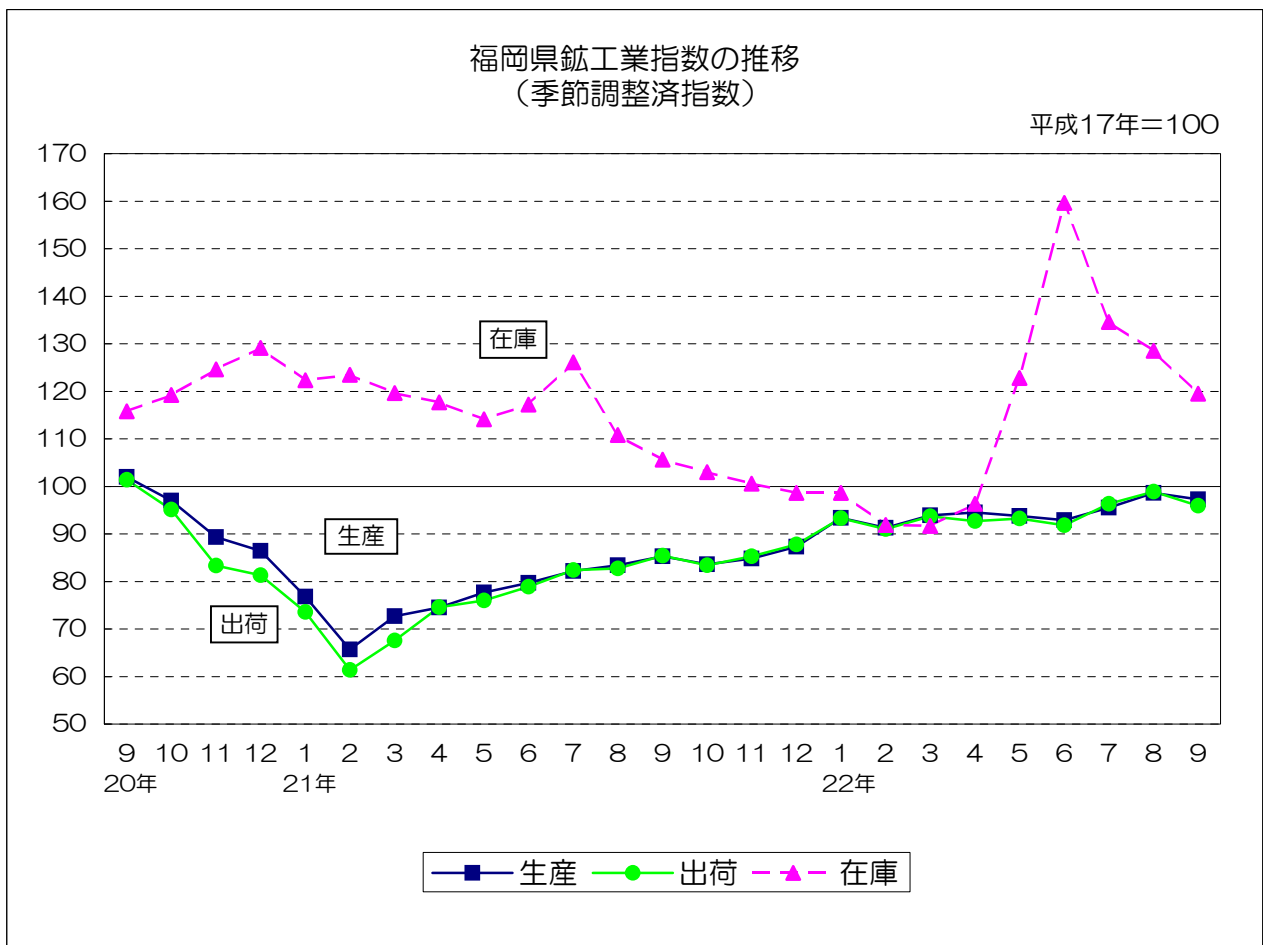


平成17年基準

福岡県鉱工業指数月報

(平成22年9月)



平成22年9月の鉱工業指数

概況

○ 平成22年9月の鉱工業指数（季節調整済）は、生産が前月比1.3%の下落、出荷が同3.0%の下落、在庫が同7.0%の下落となった。

(1) 生産

季節調整済指数 : 97.3で前月比1.3%減（3か月ぶりのマイナス）
原指数 : 102.9で前年同月比14.5%増（10か月連続のプラス）

(2) 出荷

季節調整済指数 : 95.9で前月比3.0%減（3か月ぶりのマイナス）
原指数 : 104.3で前年同月比13.6%増（11か月連続のプラス）

(3) 在庫

季節調整済指数 : 119.5で前月比7.0%減（3か月連続のマイナス）
原指数 : 118.4で前年同月比12.9%増（5か月連続のプラス）

○ 前月比（季節調整済）	[上昇]	[横ばい]	[下落]
生産（18業種中）	: 3業種	0業種	15業種
出荷（18業種中）	: 5業種	0業種	13業種
在庫（18業種中）	: 7業種	0業種	11業種

(1) 九州・全国との比較

（平成17年＝100）

		季節調整済指数		原指数	
			前月比%		前年同月比%
福岡県	生産	97.3	▲ 1.3	102.9	14.5
	出荷	95.9	▲ 3.0	104.3	13.6
	在庫	119.5	▲ 7.0	118.4	12.9
九州	生産	104.4	▲ 1.9	112.2	13.7
	出荷	104.5	▲ 2.5	113.3	13.8
	在庫	111.3	4.3	109.2	2.0
全国	生産	92.8	▲ 1.6	101.2	11.5
	出荷	95.2	▲ 0.5	105.1	12.6
	在庫	97.6	0.1	95.2	3.4

(2) 前月比（季節調整済）での上昇下落業種（生産指数のみ）

上昇に寄与した業種	下落に寄与した業種
金属製品工業 一般機械工業 鉄鋼業	輸送機械工業 食料品・たばこ工業 化学工業 電子部品・デバイス工業 窯業・土石製品工業 非鉄金属工業 ゴム製品工業 木材・木製品工業 プラスチック製品工業 鉱業 パルプ・紙・紙加工業 電気機械工業 繊維工業 家具工業 石油・石炭製品工業

四半期別指数の動向

平成22年7～9月期の概況

○ 今期の鉱工業指数（季節調整済）は、生産が前期比3.6%の上昇、出荷が同4.8%の上昇、在庫が同1.0%の上昇となった。

(1) 生産

季節調整済指数 : 97.1 で前期比3.6%増（6期連続）
原指数 : 97.1 で前年同期比16.1%増（3期連続）

(2) 出荷

季節調整済指数 : 97.0 で前期比4.8%増（2期ぶり）
原指数 : 97.1 で前年同期比16.0%増（3期連続）

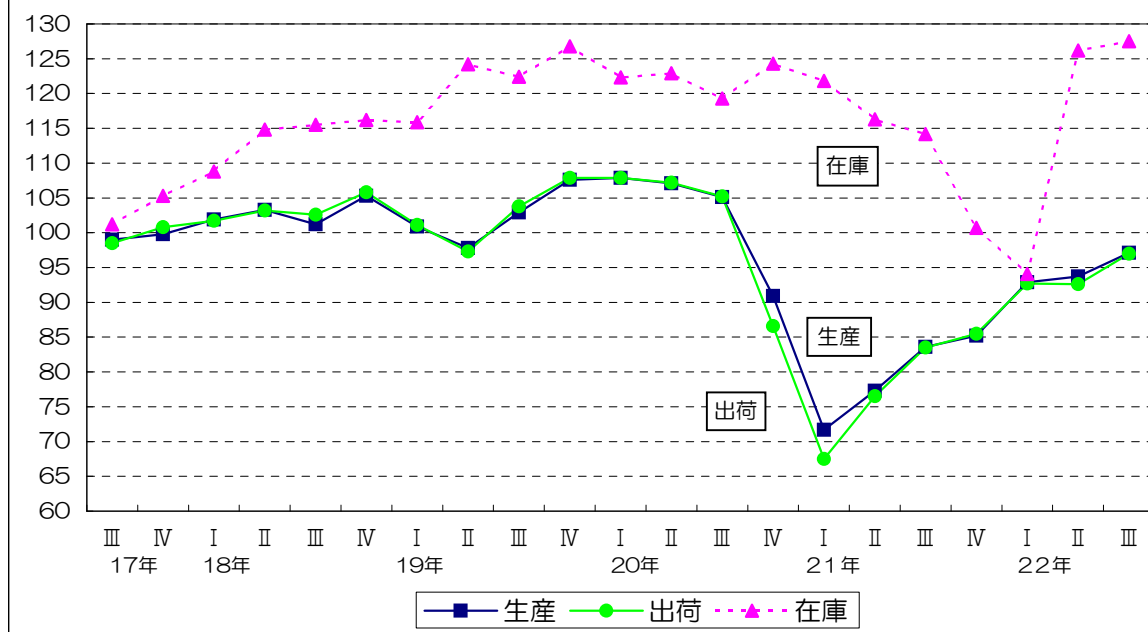
(3) 在庫

季節調整済指数 : 127.5 で前期比1.0%増（2期連続）
原指数 : 128.5 で前年同期比11.1%増（2期連続）

平成17年=100

		生 産		出 荷		在 庫	
		季節調整済指数	前期比 (%)	季節調整済指数	前期比 (%)	季節調整済指数	前期比 (%)
21年	7～9月期	83.6	8.2	83.5	9.2	114.2	▲ 1.8
	10～12月期	85.2	1.9	85.5	2.4	100.7	▲ 11.8
22年	1～3月期	92.9	9.0	92.7	8.4	94.1	▲ 6.6
	4～6月期	93.7	0.9	92.6	▲ 0.1	126.2	34.1
	7～9月期	97.1	3.6	97.0	4.8	127.5	1.0
		原指数	前年同期比 (%)	原指数	前年同期比 (%)	原指数	前年同期比 (%)
21年	7～9月期	83.6	▲ 19.1	83.7	▲ 18.8	115.7	▲ 4.5
	10～12月期	89.3	▲ 4.9	89.8	▲ 0.3	101.6	▲ 18.1
22年	1～3月期	91.6	30.3	91.5	38.4	92.3	▲ 22.6
	4～6月期	90.8	20.7	89.6	20.9	127.5	9.4
	7～9月期	97.1	16.1	97.1	16.0	128.5	11.1

四半期別指数の推移(季節調整済指数)



全業種・主要9業種の動向
(22年9月)

○ 全業種の動向

- (1) 生産指数は97.3(季節調整済)となり、前月と比べると金属製品工業や一般機械工業などが上昇したが、輸送機械工業や食料品・たばこ工業などが下落したため、総合では前月比1.3%の下落(前年同月比14.5%の上昇)となった。
- (2) 出荷指数は95.9(季節調整済)となり、前月と比べると金属製品工業や一般機械工業などが上昇したが、輸送機械工業や電子部品・デバイス工業などが下落したため、総合では前月比3.0%の下落(前年同月比13.6%の上昇)となった。
- (3) 在庫指数は119.5(季節調整済)となり、前月と比べると金属製品工業や化学工業などが上昇したが、輸送機械工業などが下落したため、総合では前月比7.0%の下落(前年同月比12.9%の上昇)となった。

○ 主要9業種の動向

[生産]

業種	前月比 (%)	前年同月比 (%)	上昇または下落に寄与した主な品目(前月比)
鉄鋼	2.3	16.3	軌条、鋼帯 等
金属製品	14.7	17.2	粉末冶金製品、飲料用缶、鉄骨 等
一般機械	6.4	39.9	フラットパネルディスプレイ製造装置 等
電気機械	▲0.2	33.4	開閉制御装置、交流電動機 等
電子・デバイス	▲9.7	15.7	線形回路、計数回路 等
輸送機械	▲4.6	20.0	普通自動車、小型自動車 等
窯業・土石製品	▲7.8	▲4.6	セメント、生コンクリート 等
化学	▲4.7	10.0	ビスフェノールA、触媒、クレオソート油 等
食料品・たばこ	▲7.3	4.6	固型カレー、冷凍調理食品、発泡酒 等
総合	▲1.3	14.5	—

[出荷]

業種	前月比 (%)	前年同月比 (%)	上昇または下落に寄与した主な品目(前月比)
鉄鋼	▲2.1	17.0	特殊鋼熱間圧延鋼材、軌条、冷延広幅帯鋼 等
金属製品	8.4	8.4	粉末冶金製品、鉄骨、ガス湯沸器 等
一般機械	3.4	36.6	フラットパネルディスプレイ製造装置、C(W)BN工具、固定比減速機 等
電気機械	▲2.8	32.8	開閉制御装置、交流電動機 等
電子・デバイス	▲10.0	11.0	線形回路 等
輸送機械	▲4.5	20.6	普通自動車、小型自動車 等
窯業・土石製品	▲10.0	▲6.9	セメント 等
化学	▲1.3	12.9	ナフタリン、酵素、ビスフェノールA 等
食料品・たばこ	▲2.1	7.9	固型カレー、冷凍調理食品 等
総合	▲3.0	13.6	—

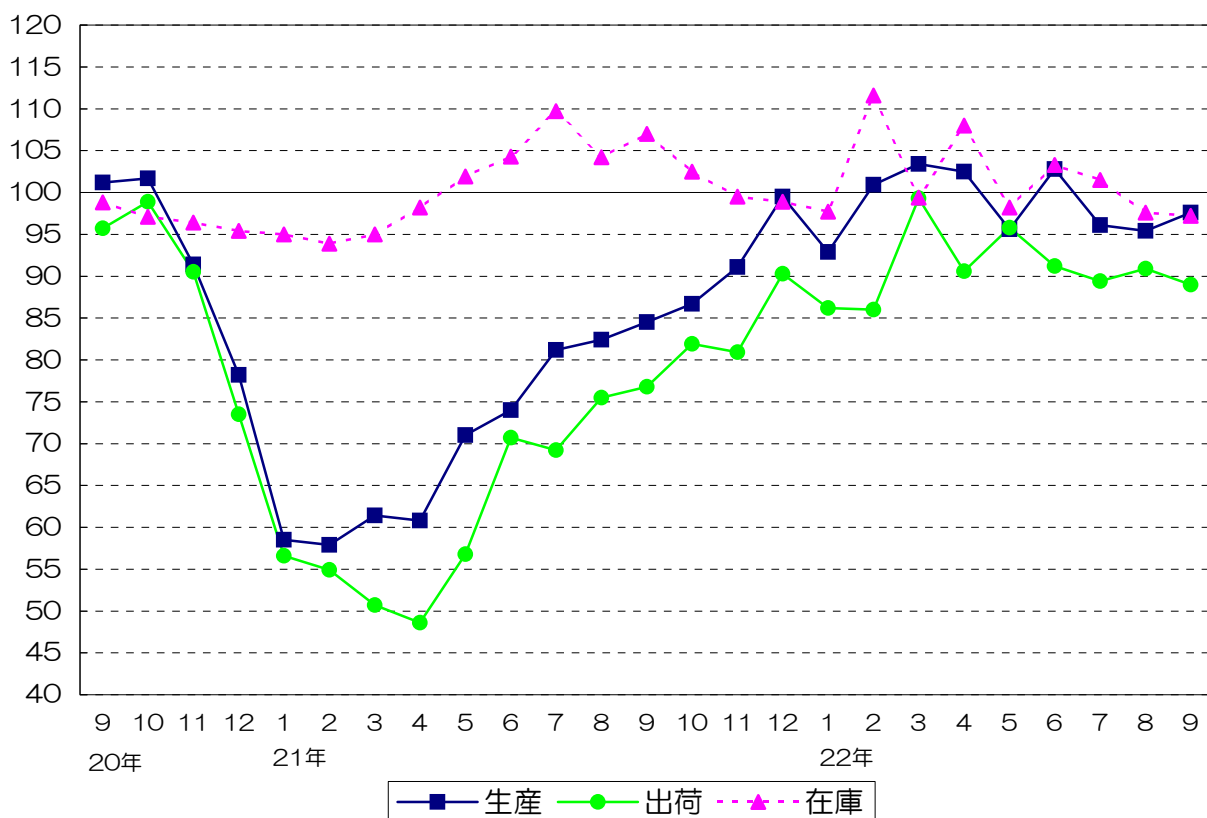
[在庫]

業種	前月比 (%)	前年同月比 (%)	上昇または下落に寄与した主な品目(前月比)
鉄鋼	▲0.4	▲9.8	特殊鋼冷間仕上鋼材、鋼半製品 等
金属製品	5.3	▲23.0	スチール又はステンレスシャッター、ガス湯沸器、飲料用缶 等
一般機械	▲9.1	▲60.4	ショベル系掘削機(油圧式) 等
電気機械	▲2.8	▲59.7	電力量計 等
電子・デバイス	▲100.0	▲100.0	線形回路、計数回路
輸送機械	▲17.0	96.7	小型自動車
窯業・土石製品	2.3	▲0.2	道路用コンクリート製品、耐火れんが 等
化学	0.6	3.0	ポリカーボネート、触媒、複合肥料 等
食料品・たばこ	▲4.8	▲1.6	砂糖、味噌 等
総合	▲7.0	12.9	—

(注) 前月比は季節調整済指数、前年同月比は原指数による。

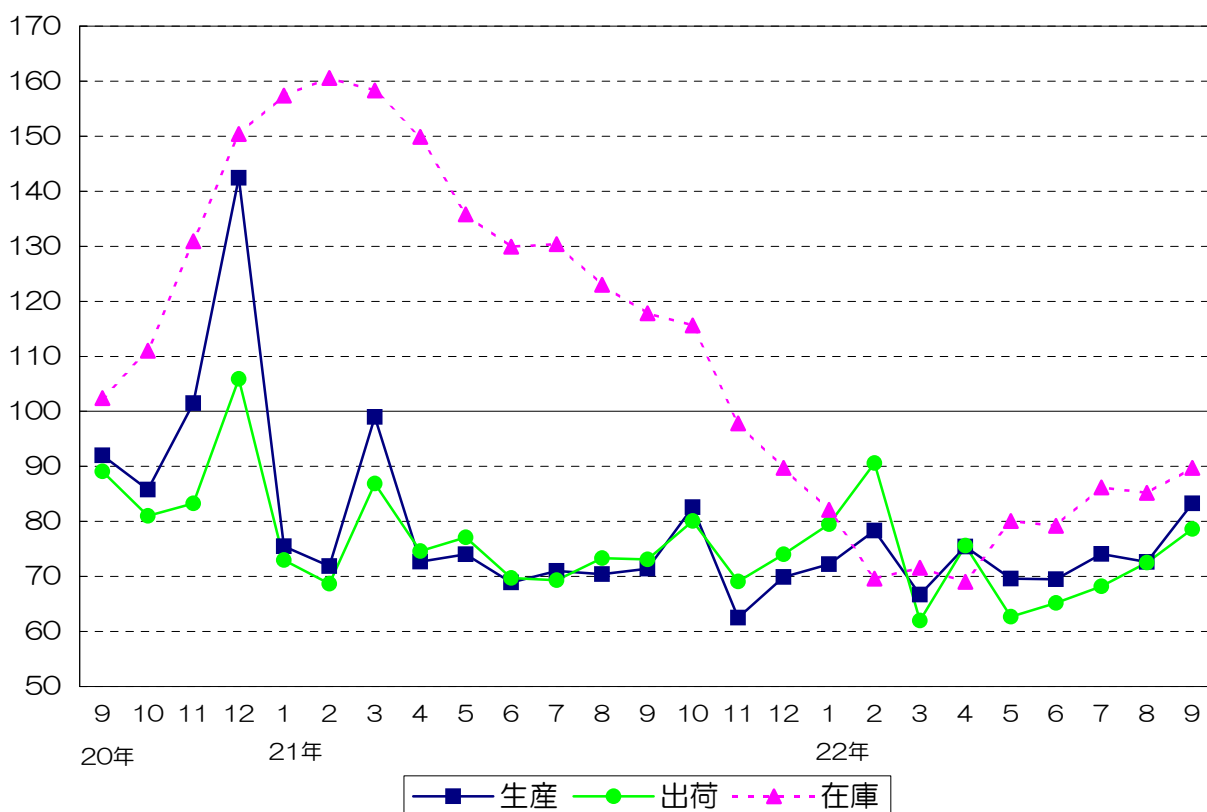
鉄鋼業 (季節調整済指数)

平成17年=100



金属製品工業 (季節調整済指数)

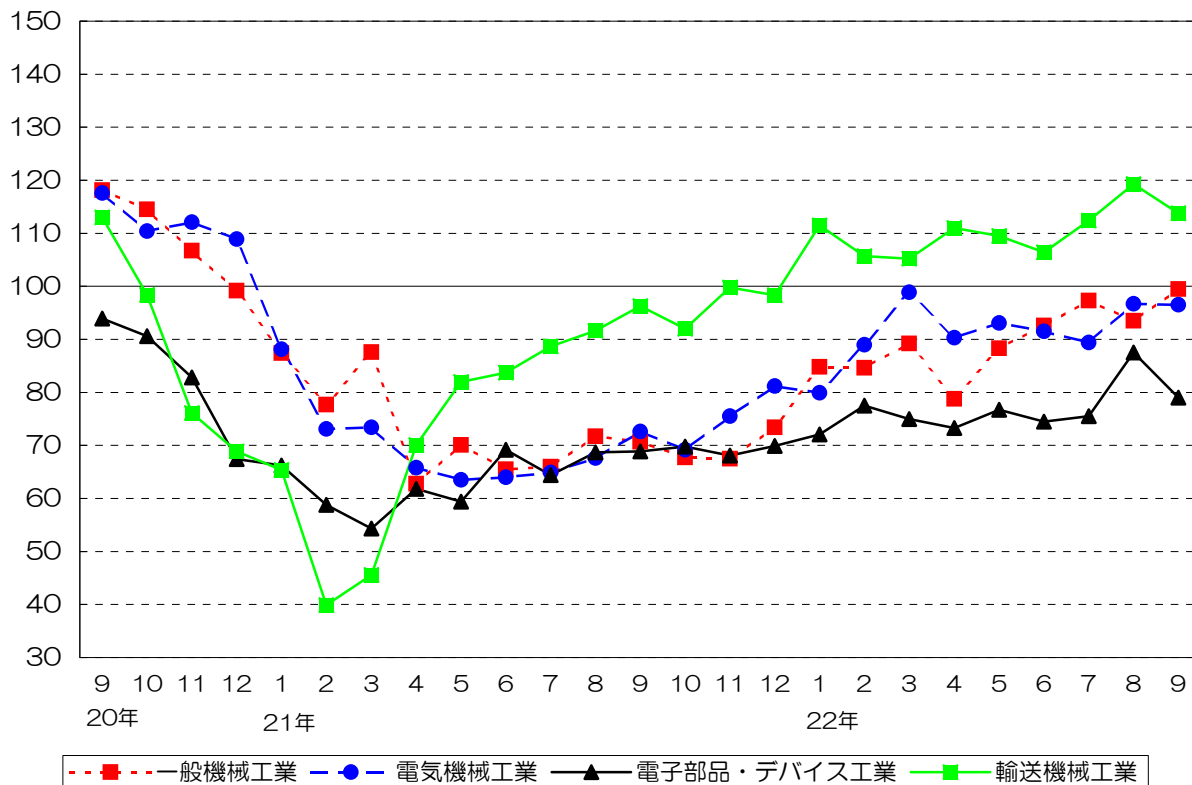
平成17年=100



機械工業（季節調整済指数）

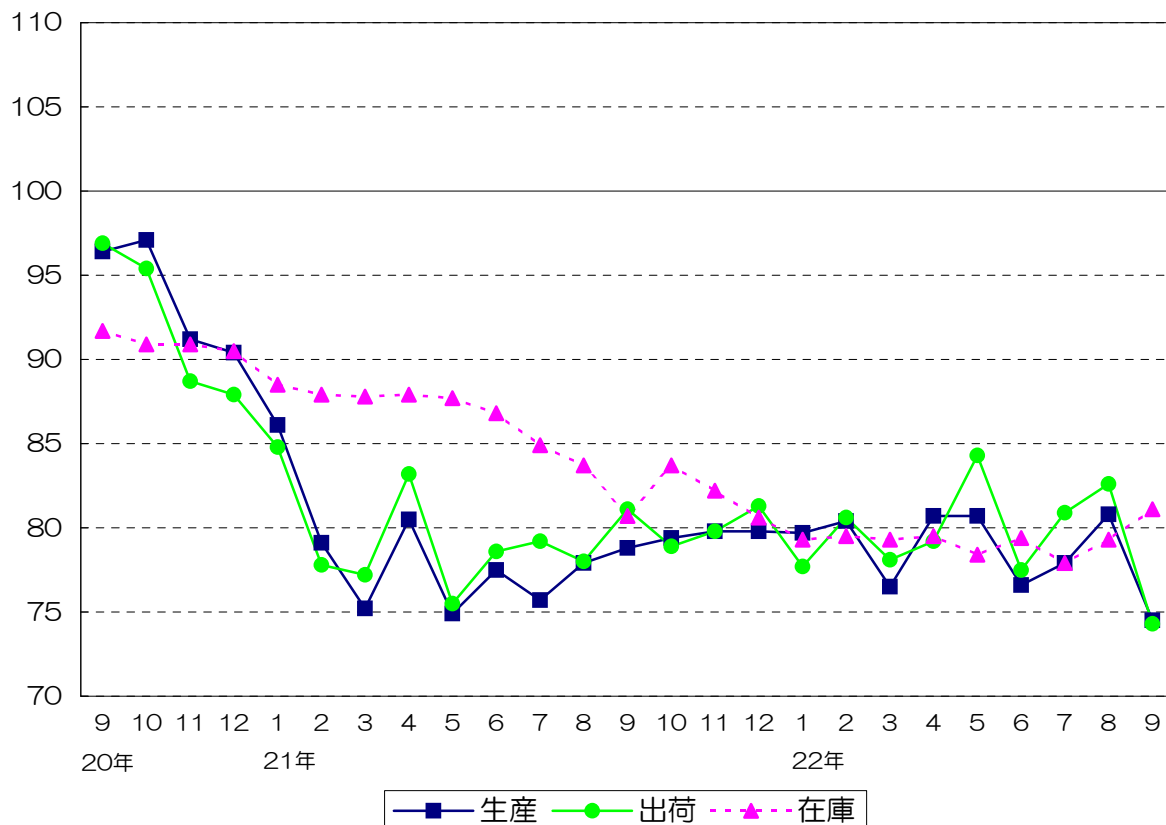
*生産指数のみ。

平成17年=100



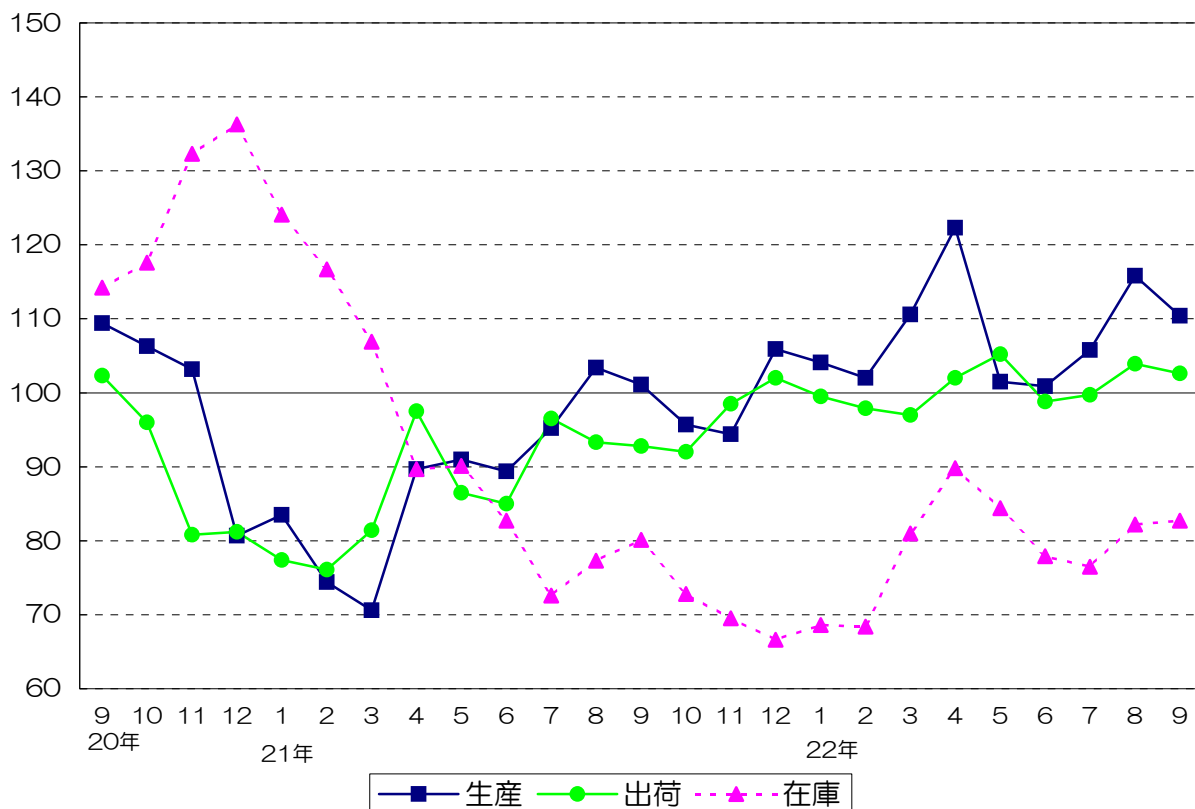
窯業・土石製品工業（季節調整済指数）

平成17年=100



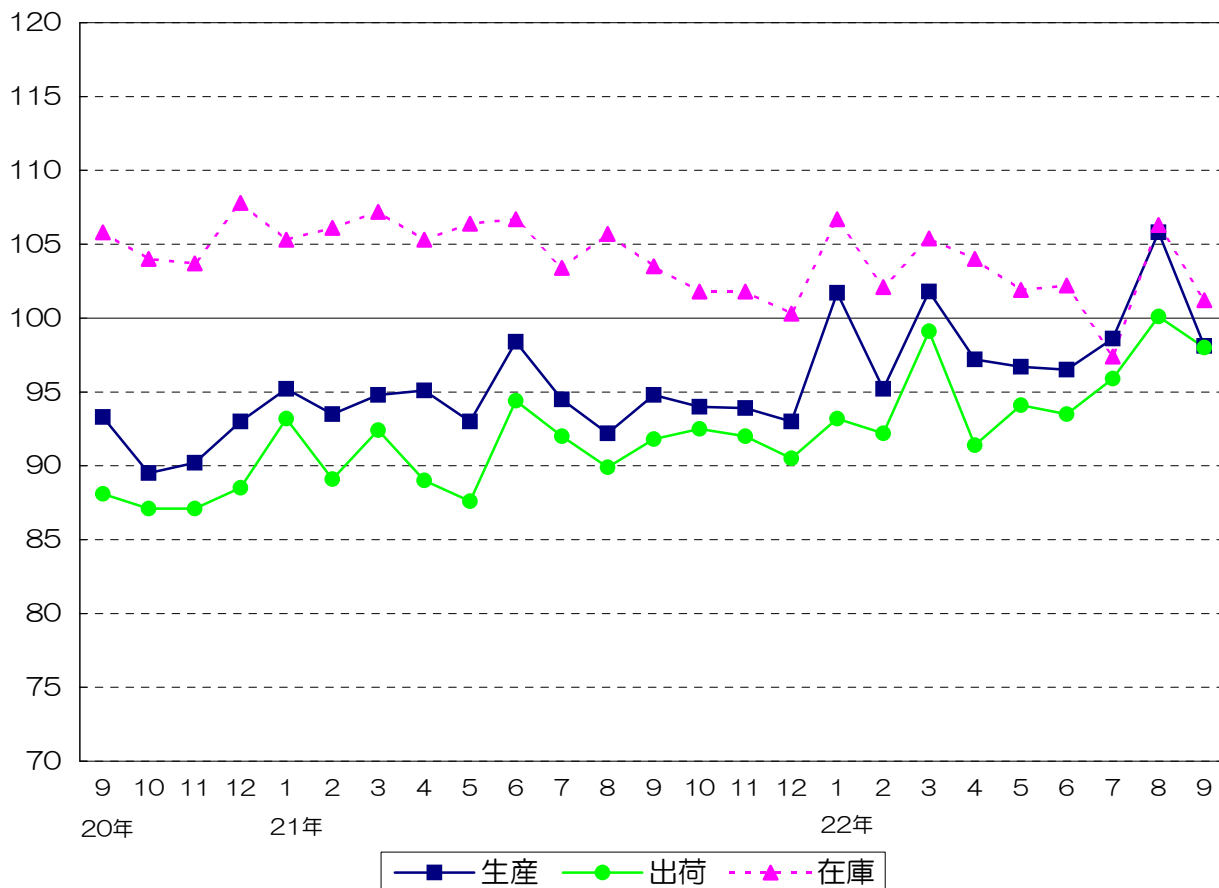
化学工業（季節調整済指数）

平成17年=100



食料品・たばこ工業（季節調整済指数）

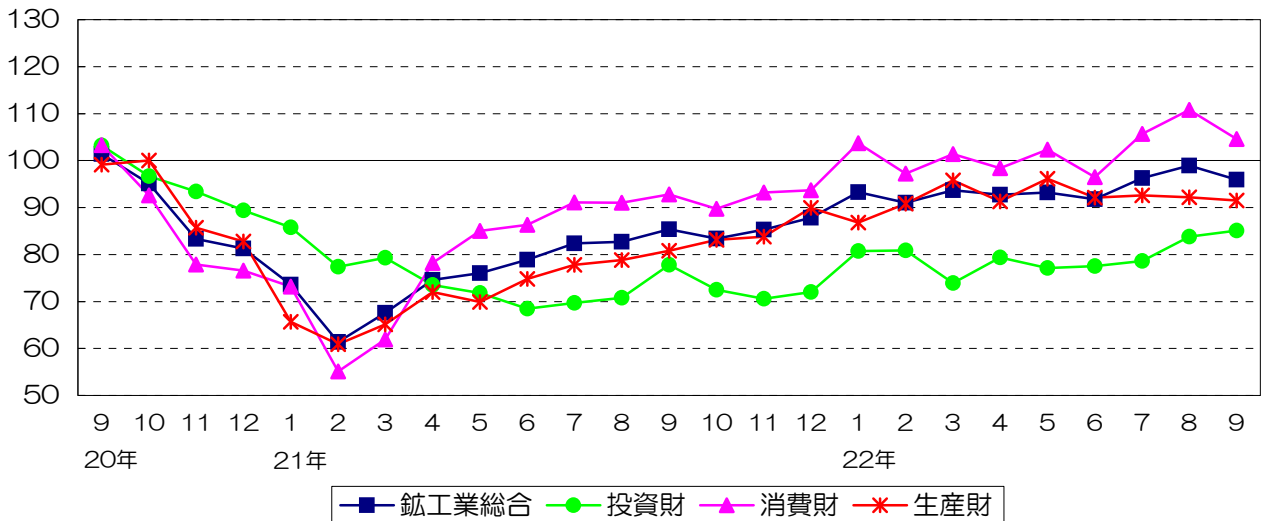
平成17年=100



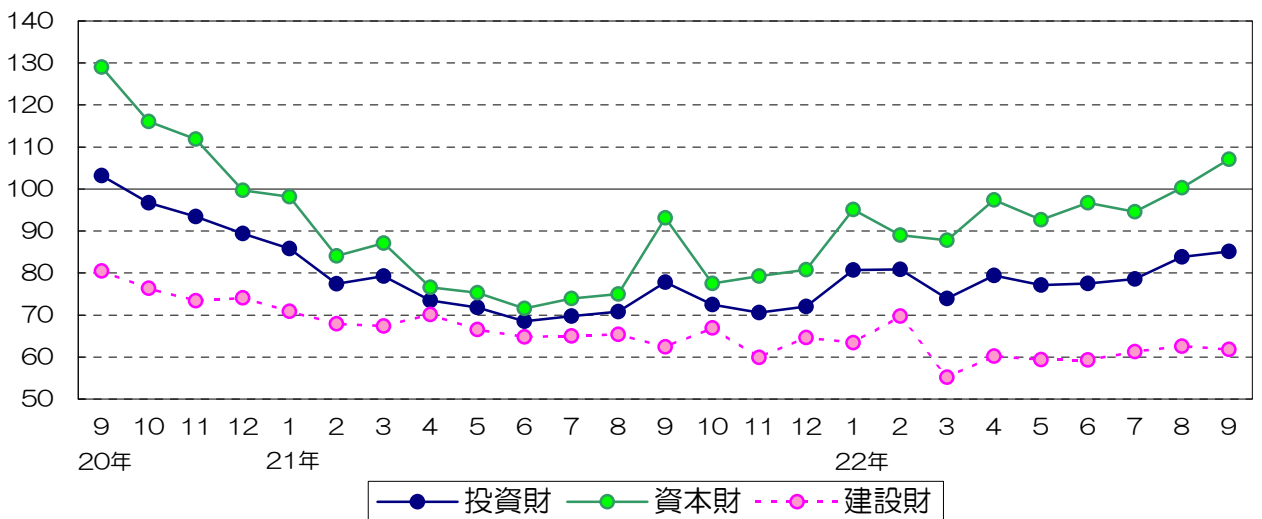
福岡県鉱工業出荷指数財別の推移（季節調整済指数）

平成17年=100

鉱工業総合



投資財



消費財

